

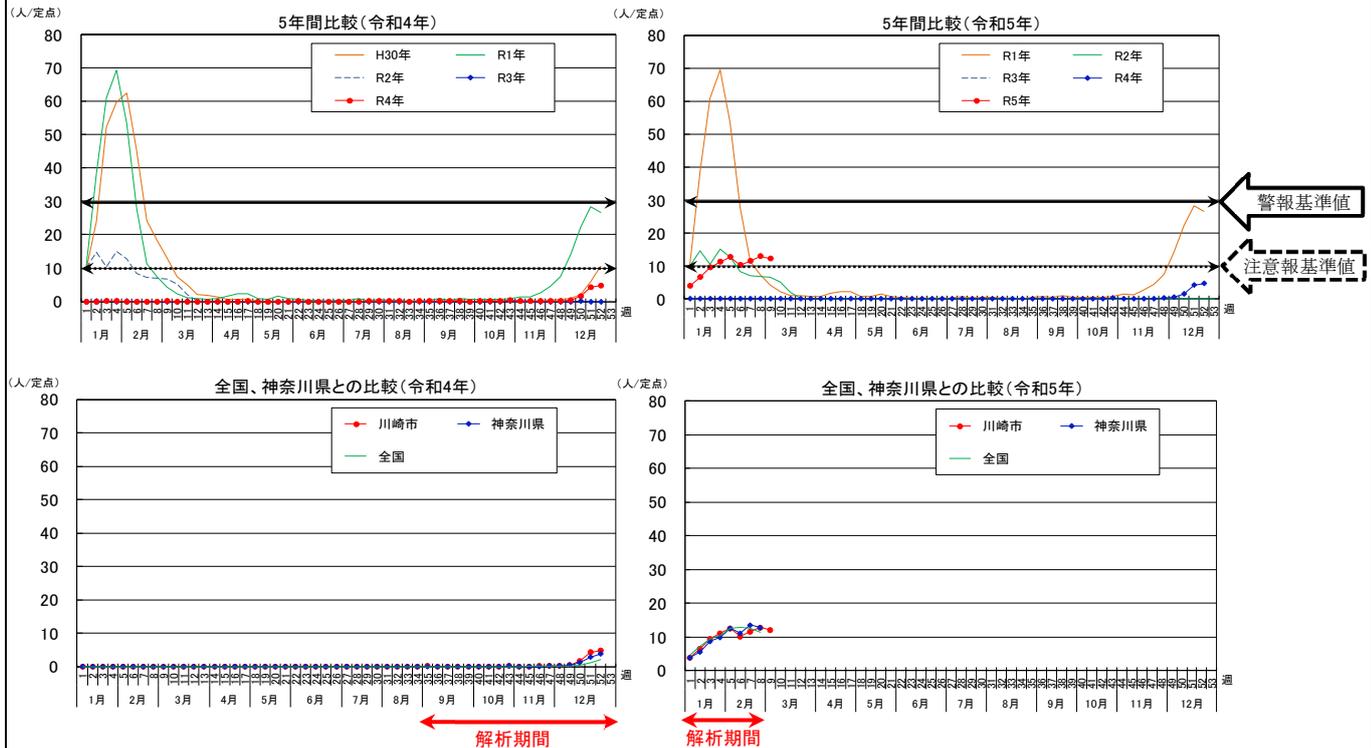
## (2) 定点把握疾患の届出状況(令和4年9月～令和5年2月)

### <インフルエンザ定点対象疾患>

インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

#### 【川崎市】

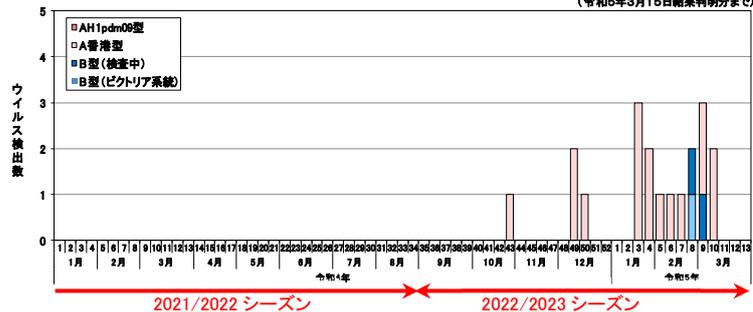
今期(令和4年9月～令和5年2月)は定点当たり3.50人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると0.53倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。2022/2023シーズンは、令和4年第50週に定点当たり患者報告数が1.64人となり、2019/2020シーズン以来3シーズンぶりに流行開始の目安(定点当たり1.00人)を超えました。その後も報告数は増加し、令和5年第4週に定点当たり11.30人と流行発生注意報基準値を超えました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2022/2023シーズンはA香港型が12件、B型(検査中)が2件、B型(ビクトリア系統)が1件検出されました。

血清型別インフルエンザウイルス検出状況

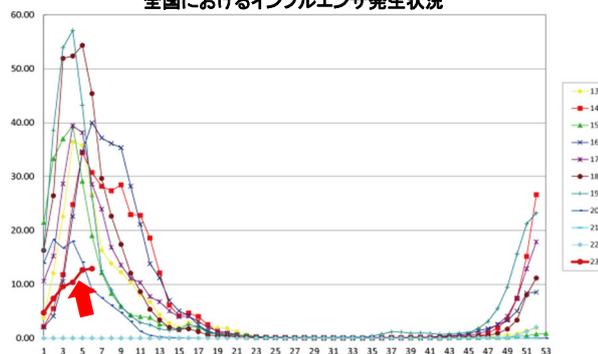
(令和5年3月15日結果判明分まで)



#### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

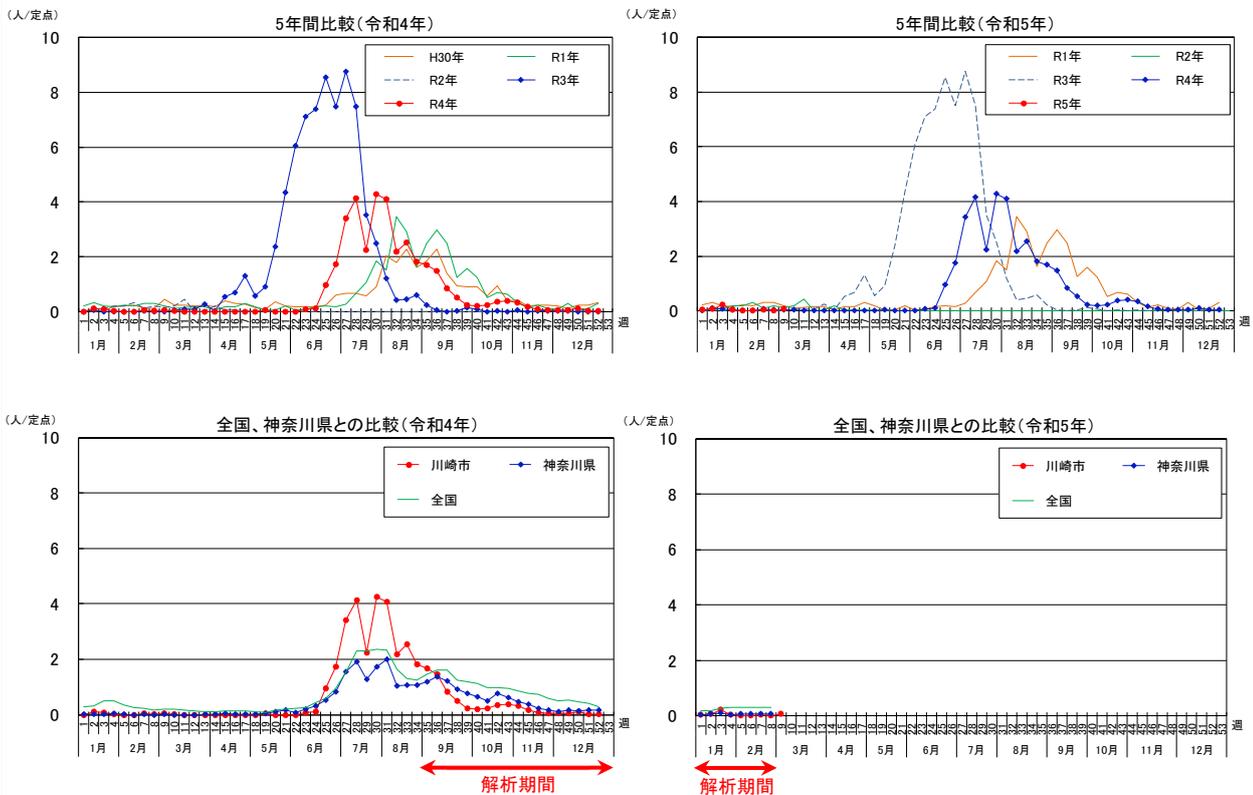


# <小児科定点対象疾患>

## RSウイルス感染症

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.28 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.79 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

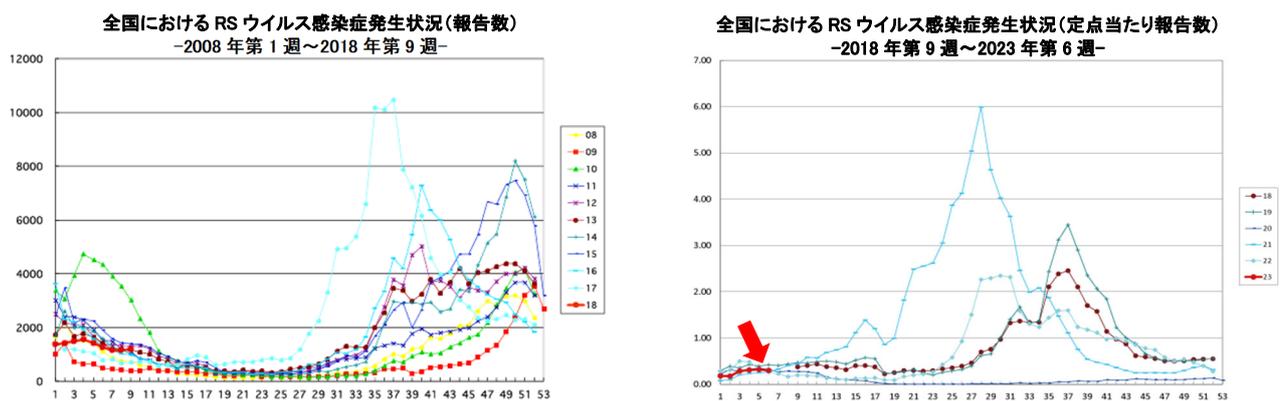


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
幸区	女	1	R4.9.2	鼻咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

### 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



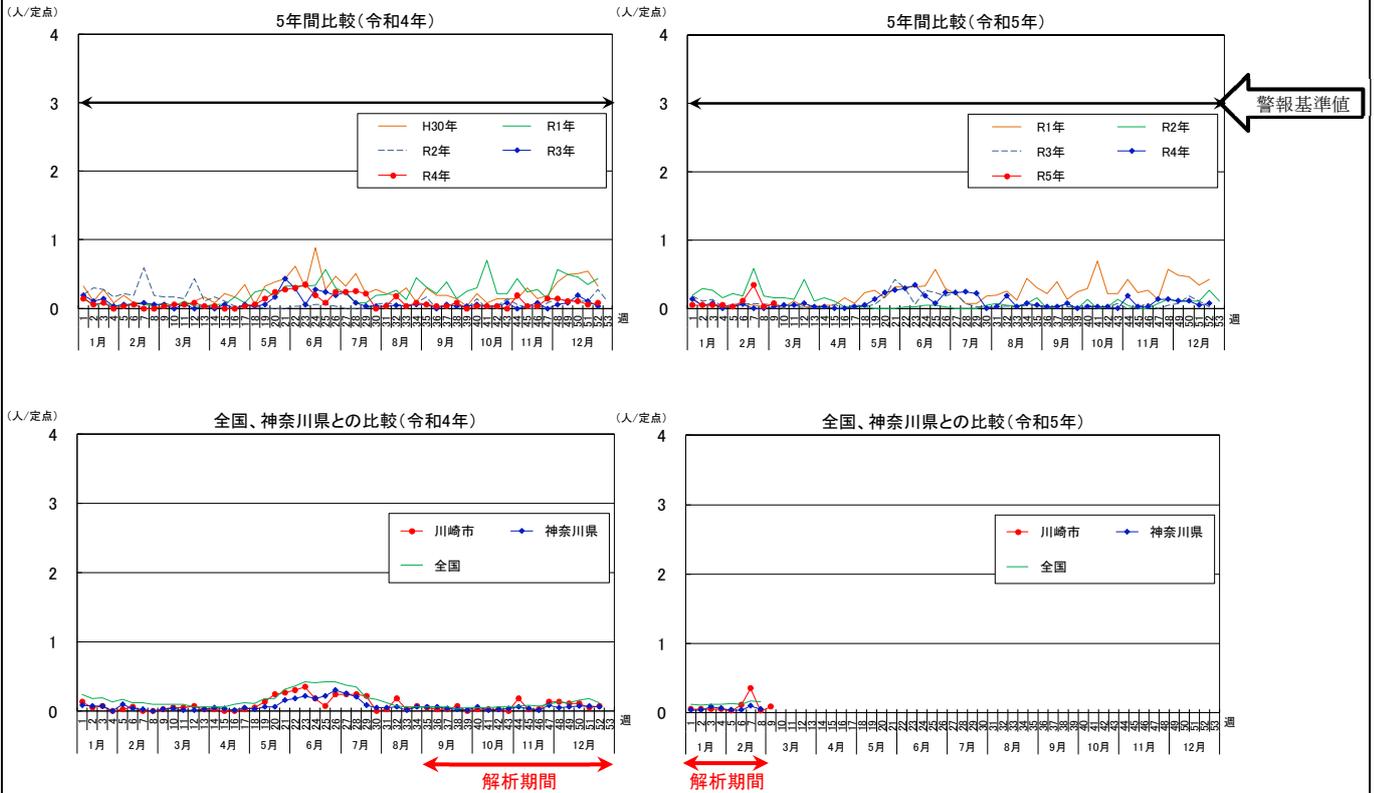
※2018年9週(2月26日～3月4日)から、国立感染症研究所におけるRSウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

# 咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.35 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

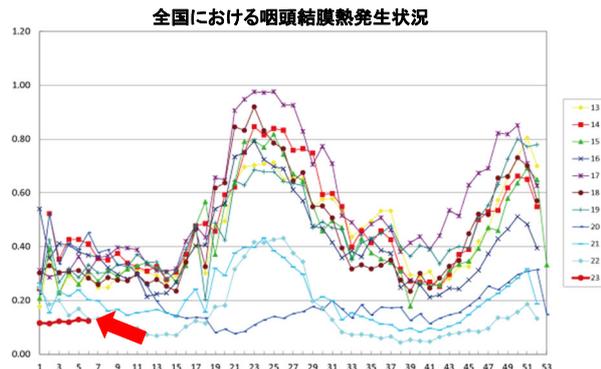
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

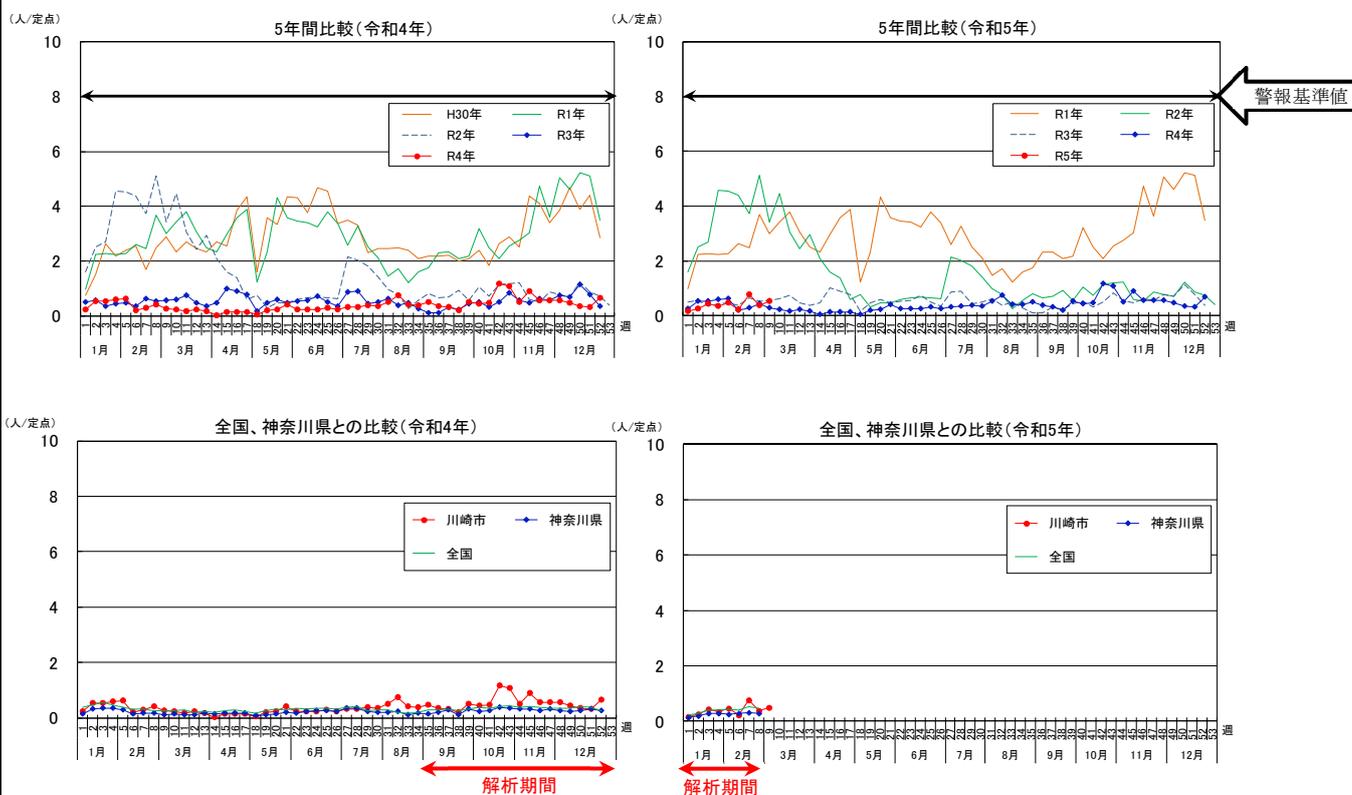


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.50 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.25 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

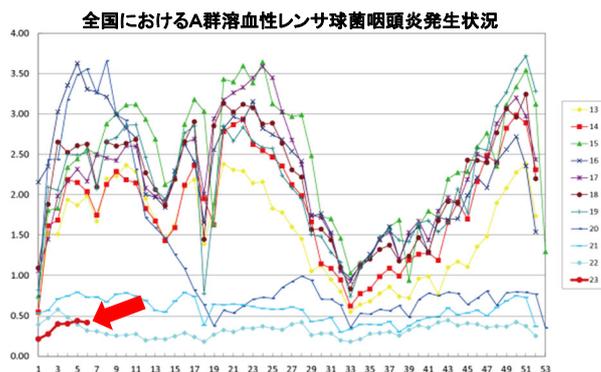
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

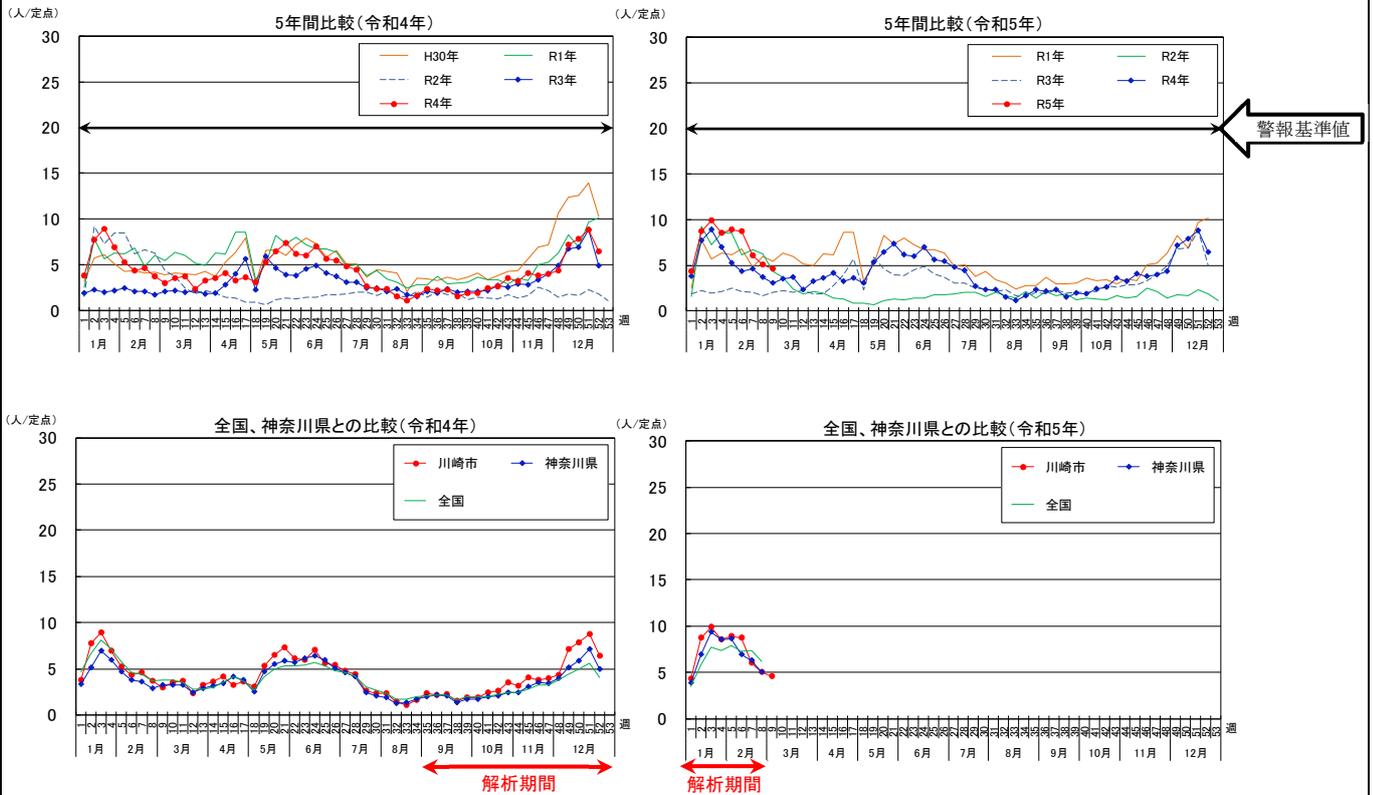


# 感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 5.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.06 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

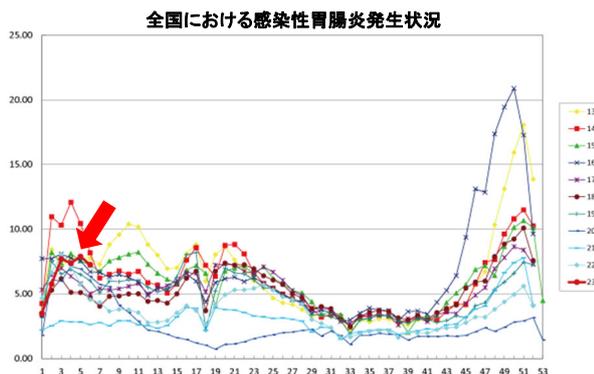
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

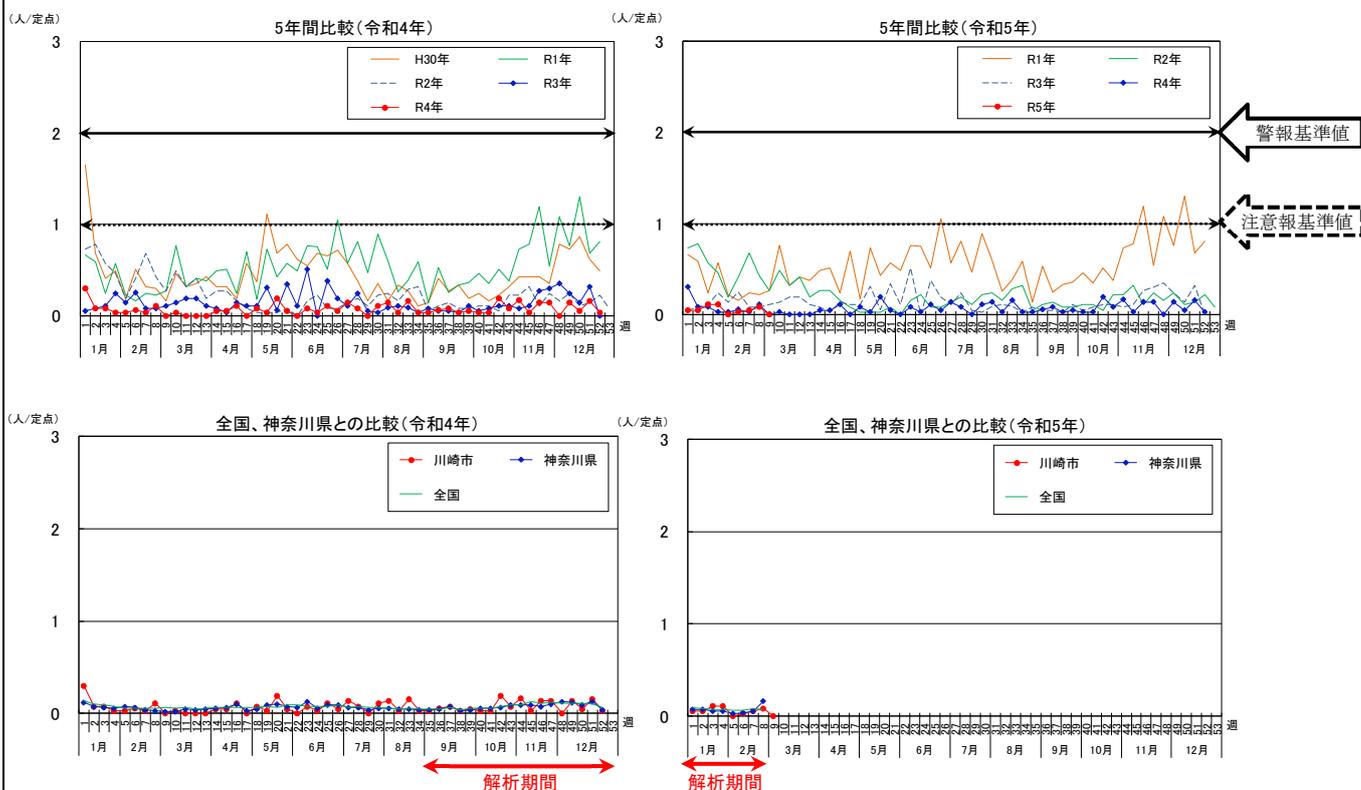


水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.19 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

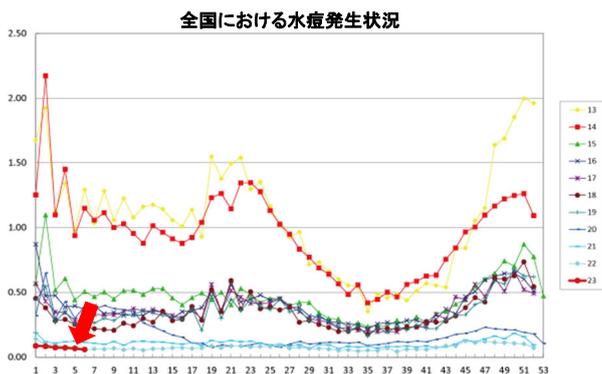
今期、流行発生注意報基準値以上となった週は、川崎区で第 42 週でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

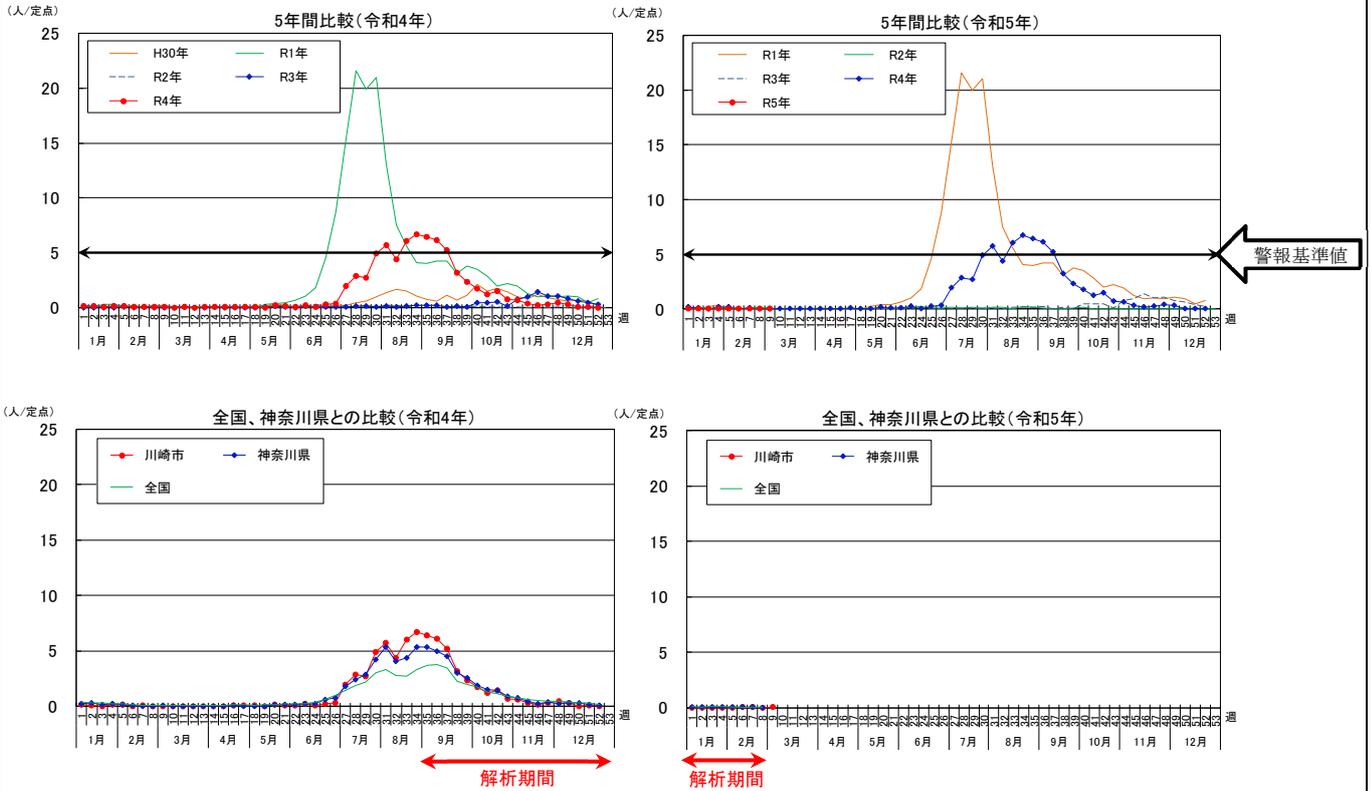


# 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 1.18 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.13 倍で、例年並みのレベルで推移しました。7 月上旬以降報告数が増加し、第 31 週には流行発生警報基準値を超えましたが、9 月下旬以降報告数は減少しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週は、川崎区及び麻生区で第 35 週及び第 36 週、高津区及び多摩区で第 35 週～第 37 週、宮前区で第 35 週～第 38 週、幸区で第 36 週及び第 37 週でした。

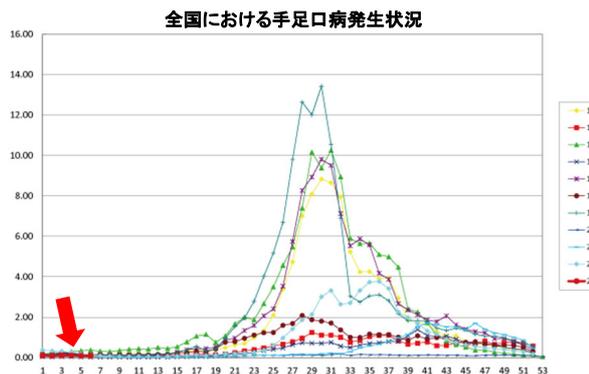


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
高津区	男	1	R4.9.12	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A6 型
					ライノウイルス C 型

## 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

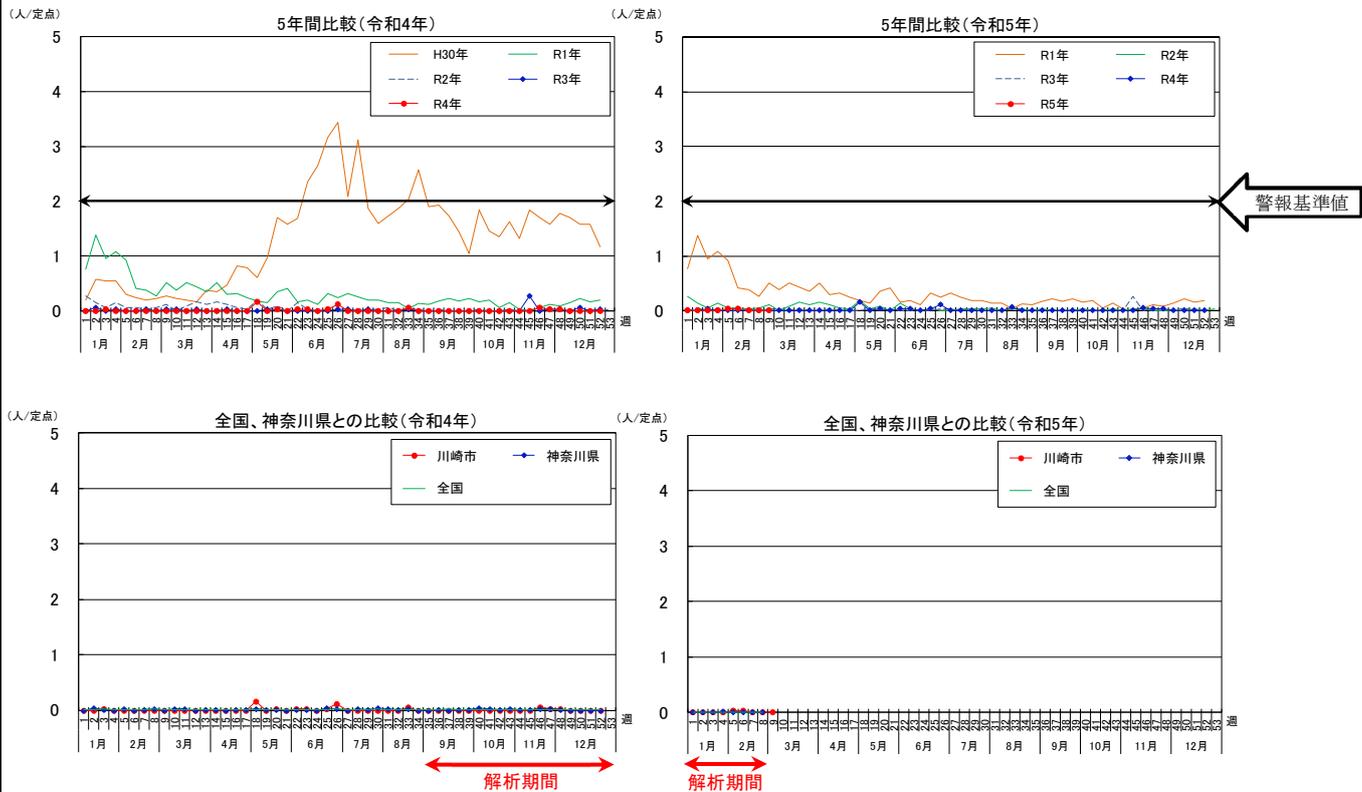


## 伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.01 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.03 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

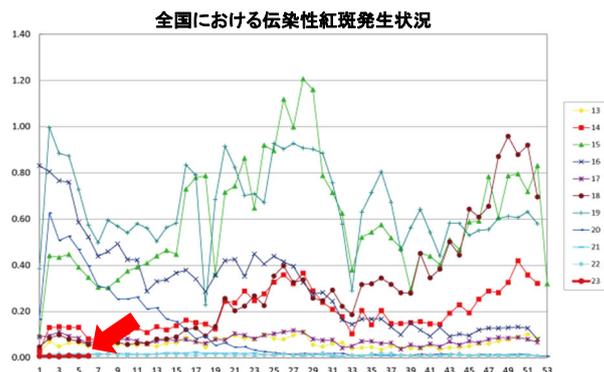
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

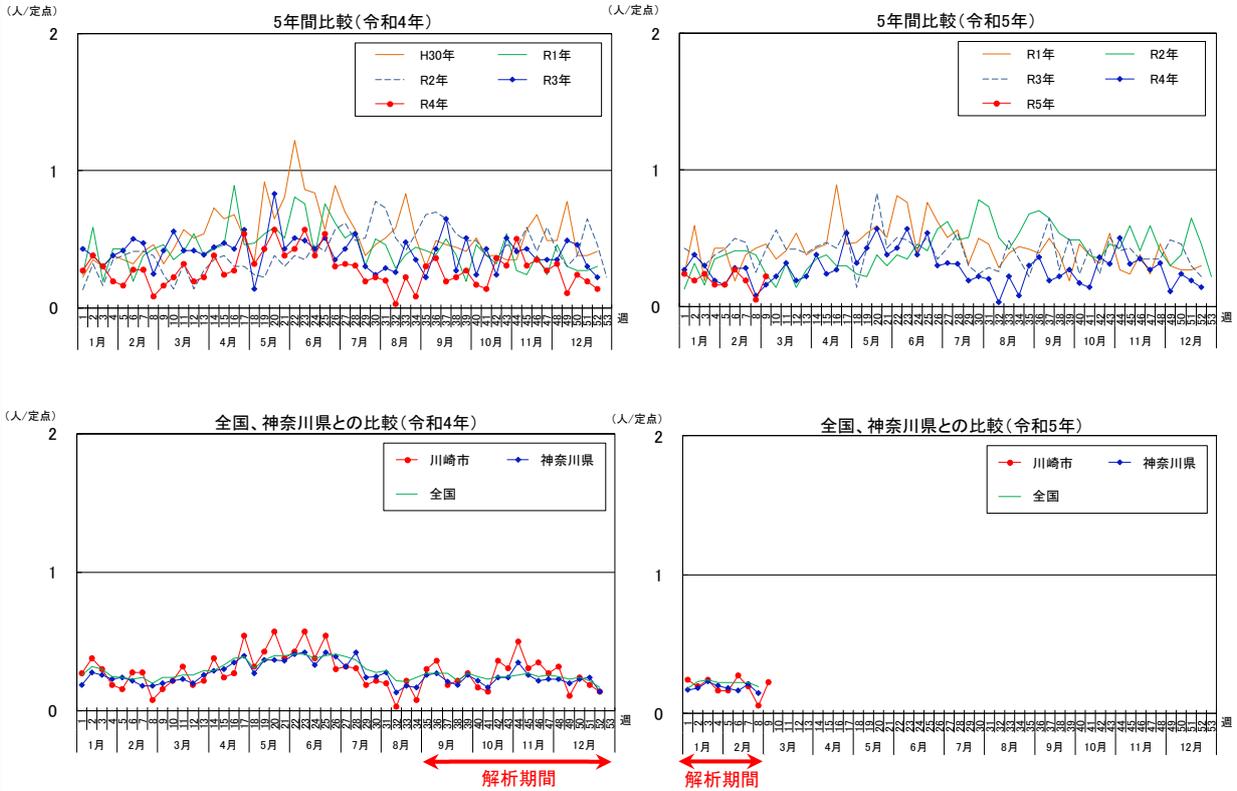


# 突発性発しん

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.24 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.57 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

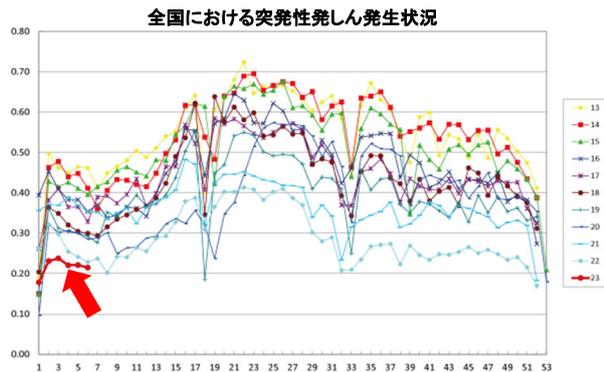
また、年齢階級別では 1 歳以下が 77.1%を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

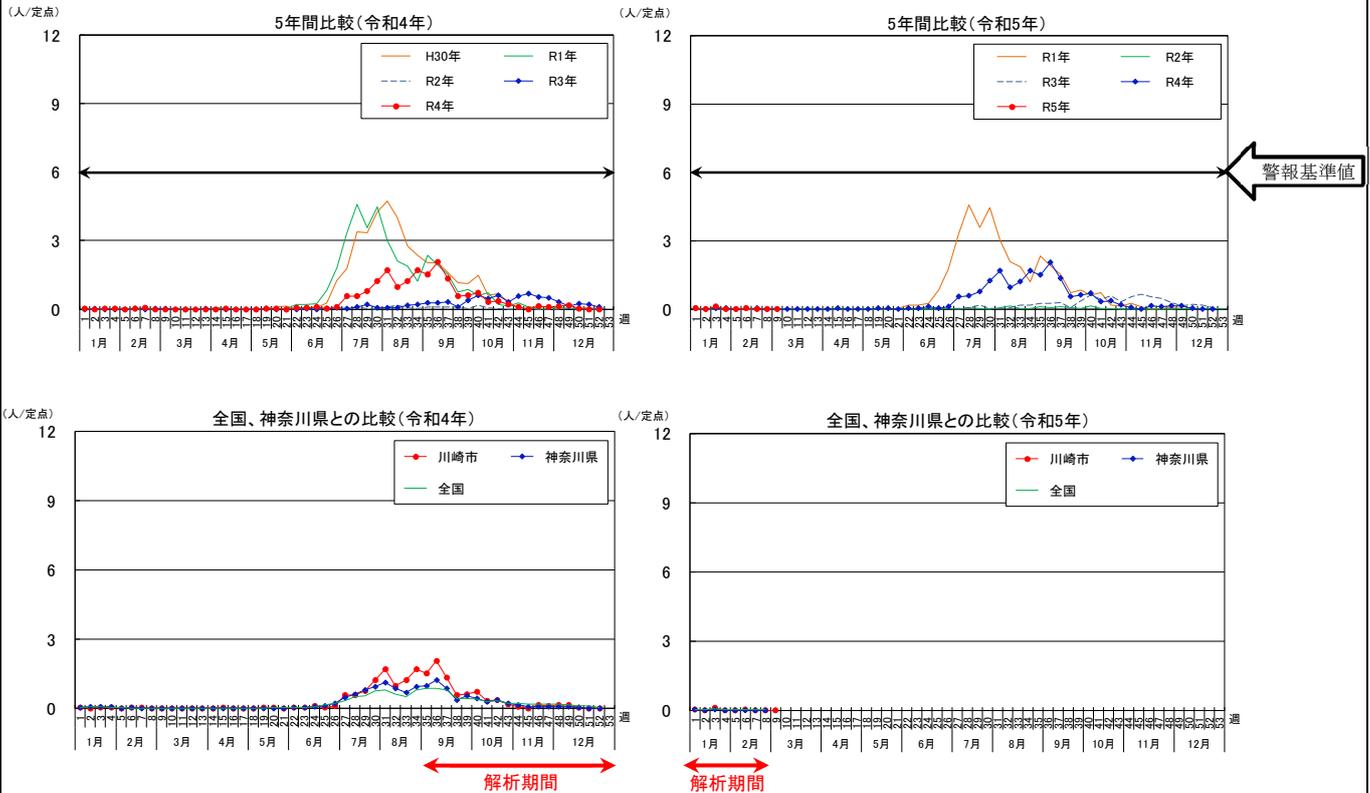


## ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.33 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.06 倍で、例年並みのレベルで推移しました。7 月上旬以降報告数がやや増加し、第 36 週(定点当たり 2.06 人)にピークとなりましたが、9 月下旬以降は減少しました。

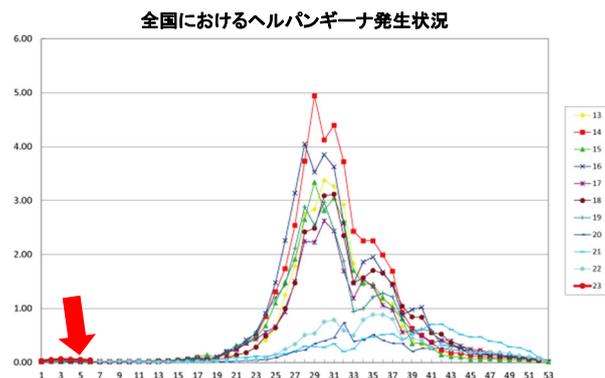
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。

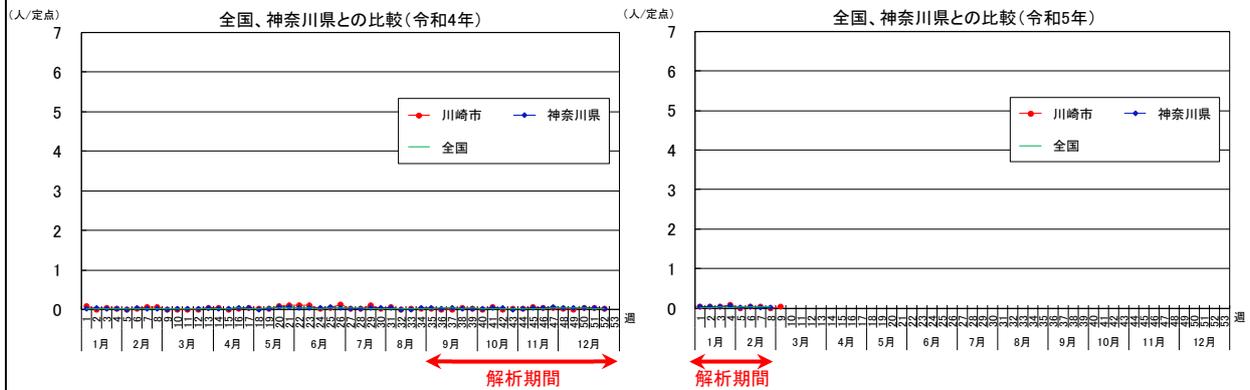
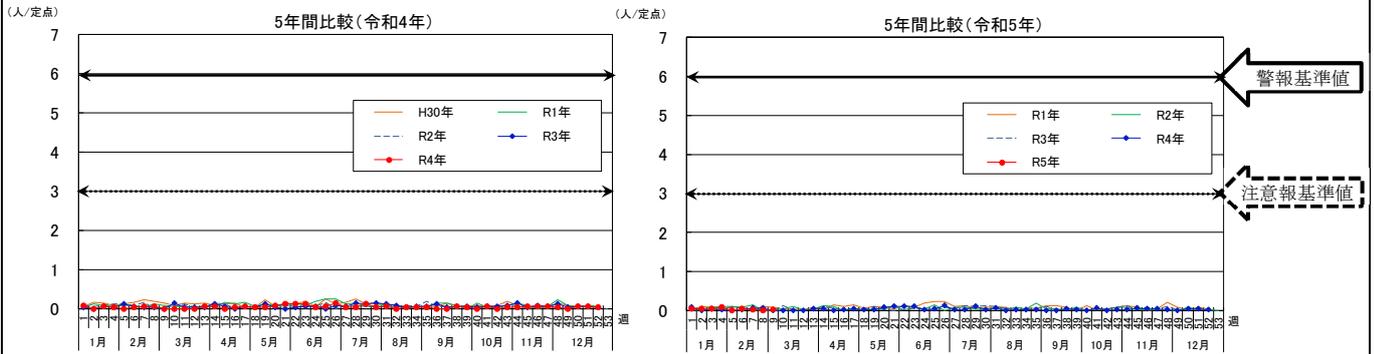


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.33 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

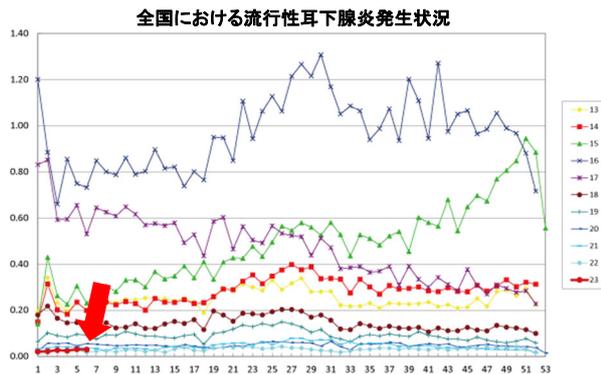
今期、流行発生注意報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

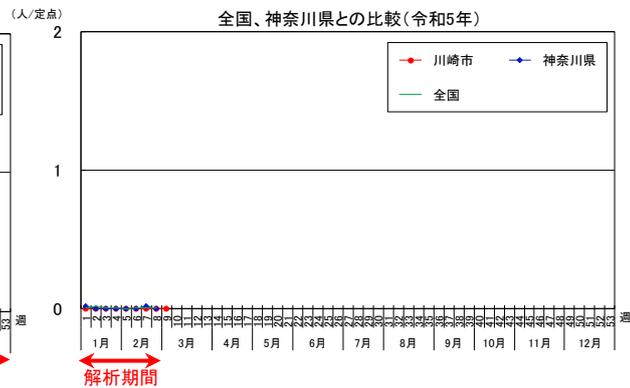
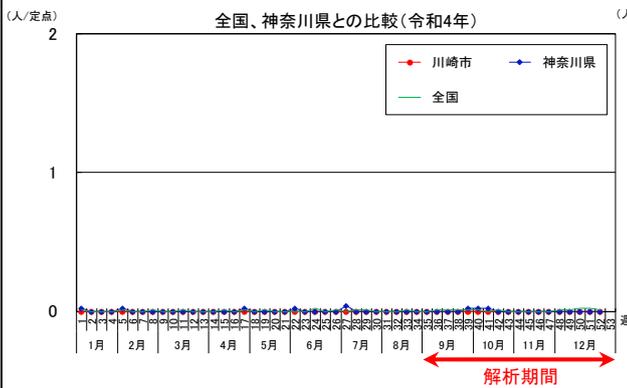
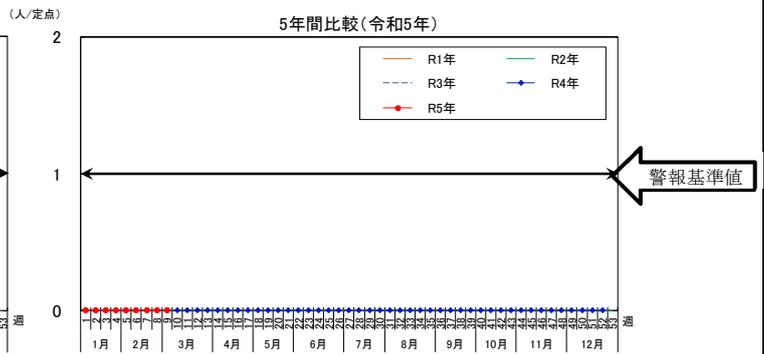
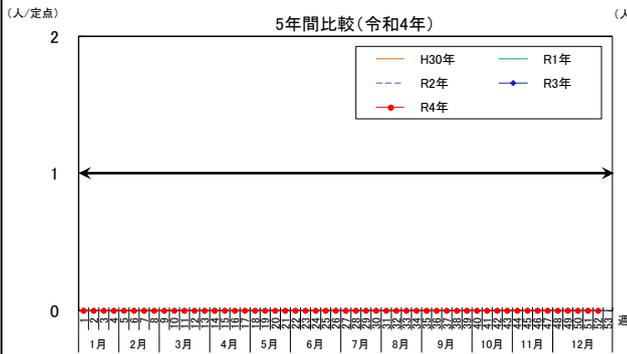


# <眼科定点対象疾患>

## 急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

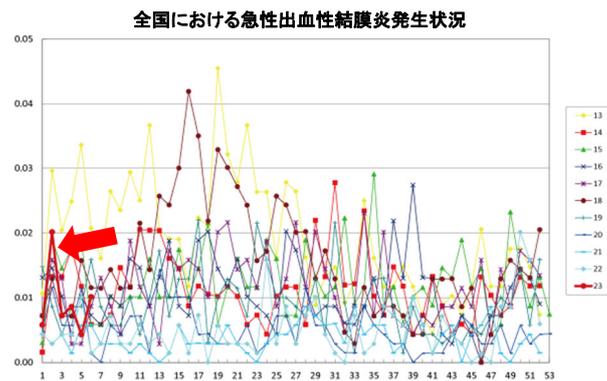
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

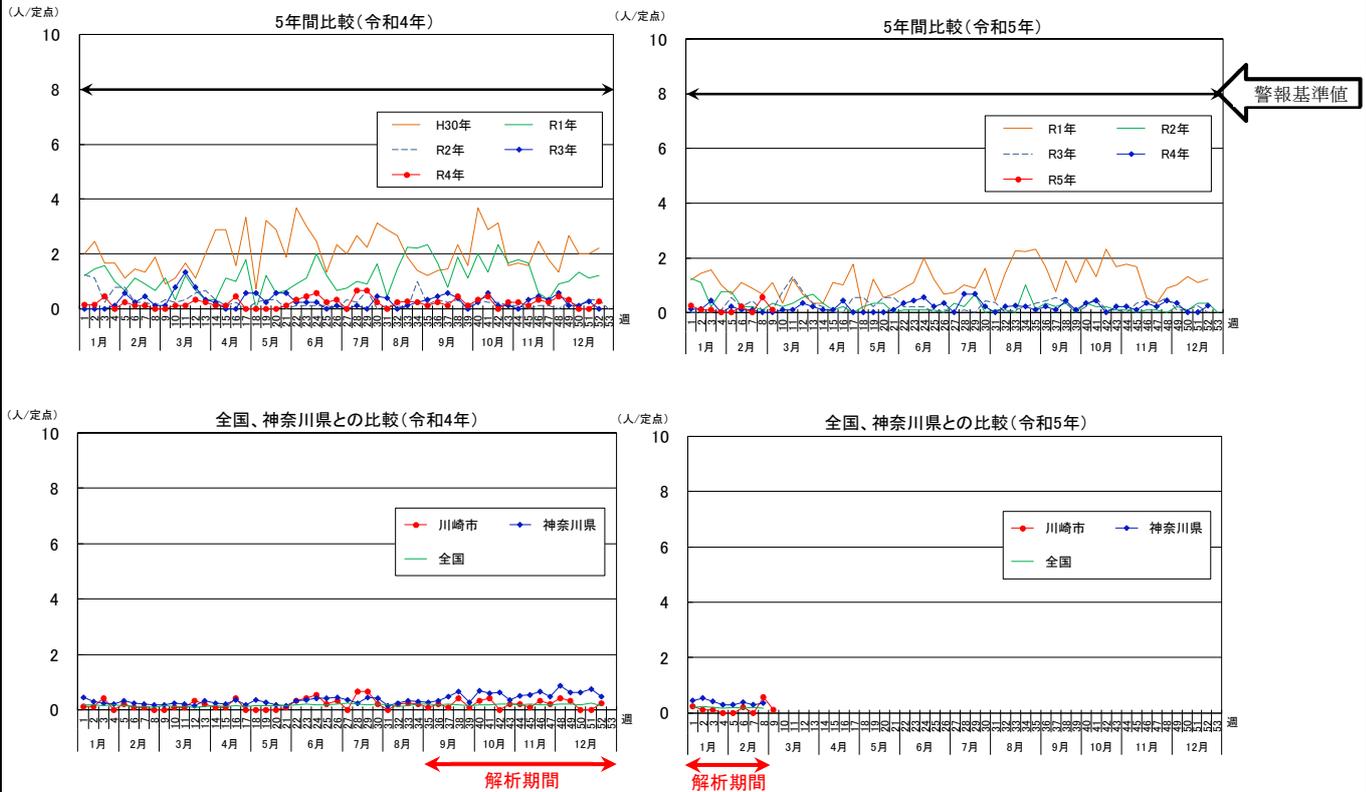


## 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.20 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.20 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。

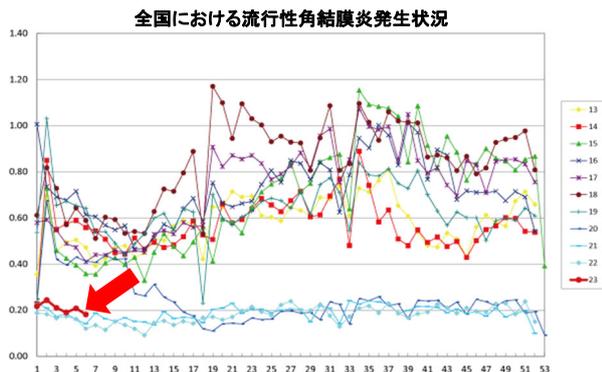


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	27	R4.11.28	眼脂	アデノウイルス 53 型
川崎区	男	2	R4.12.26	眼脂	陰性
川崎区	女	23	R5.1.10	眼脂	陰性
川崎区	男	22	R5.1.22	眼脂	アデノウイルス 56 型

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

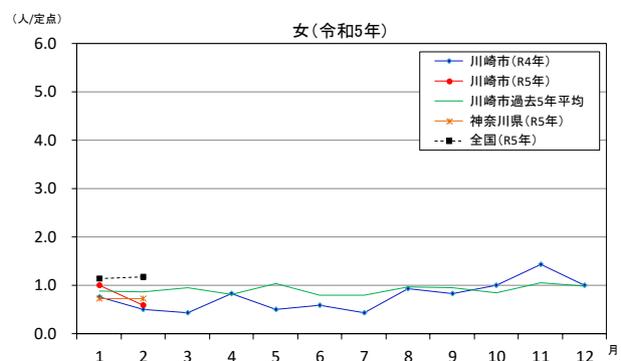
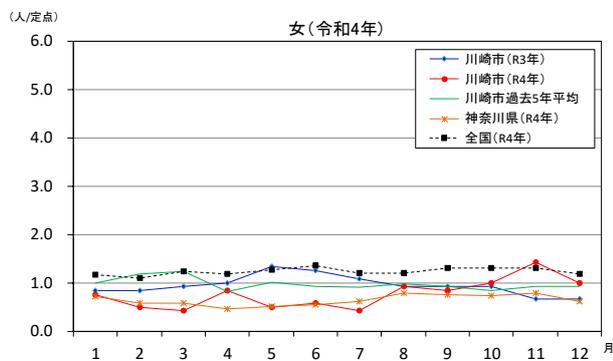
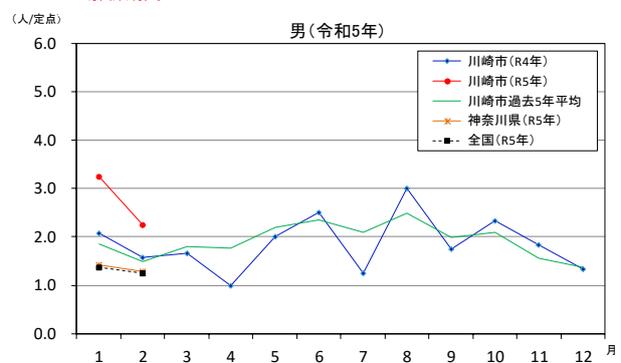
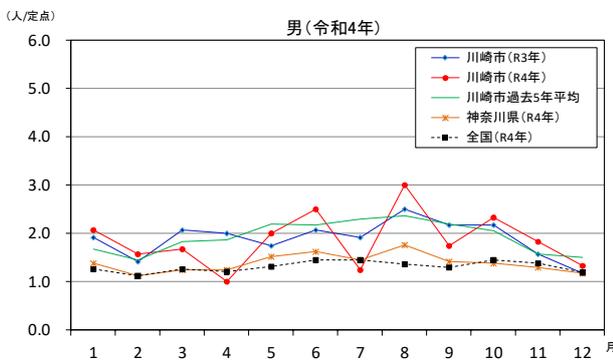
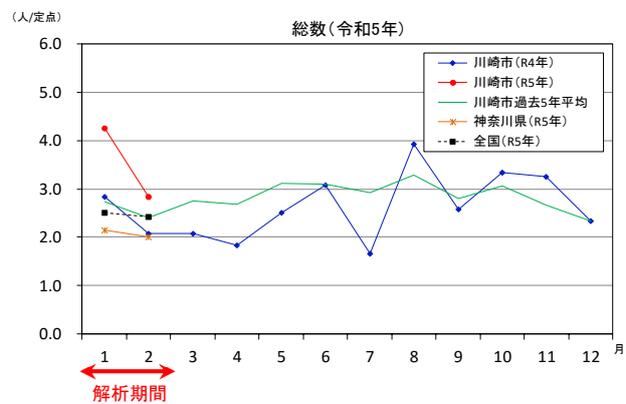
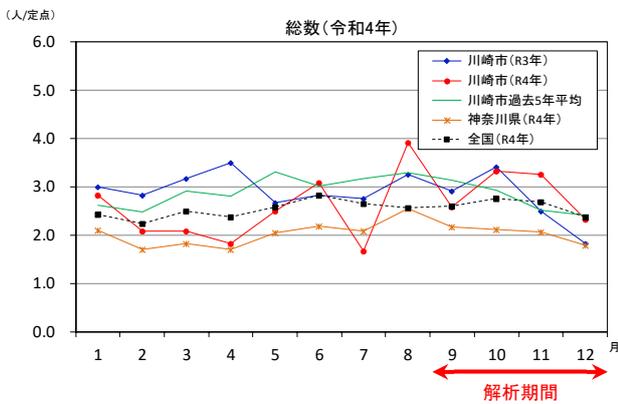


# <性感染症定点対象疾患>

## 性器クラミジア感染症

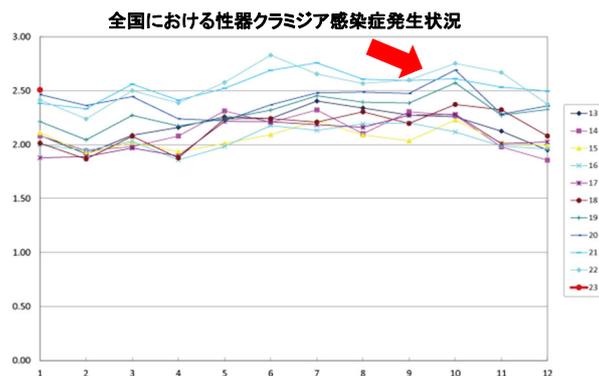
### 【川崎市】

今期は定点当たり 3.10 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.15 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



### 【全国及びその他】

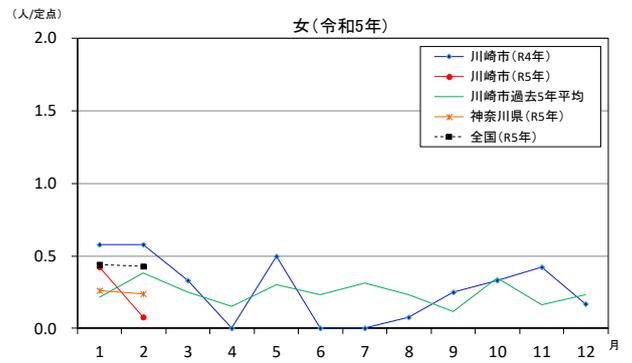
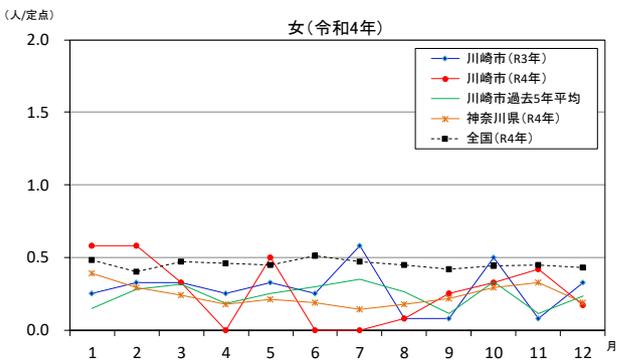
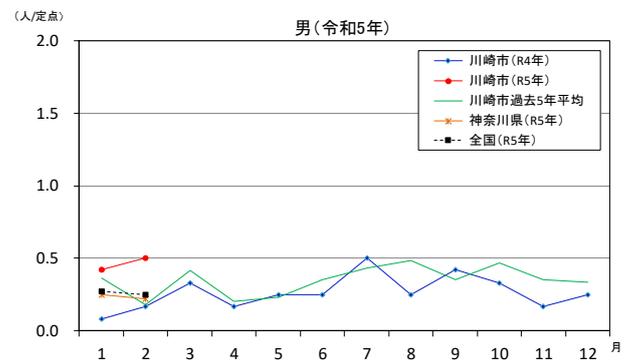
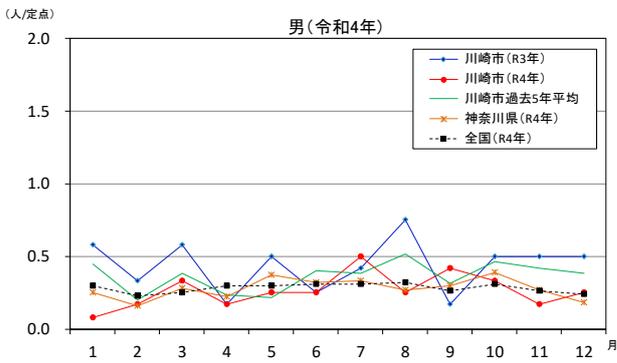
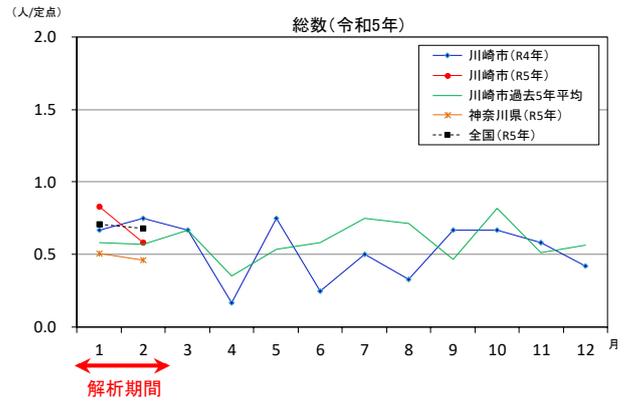
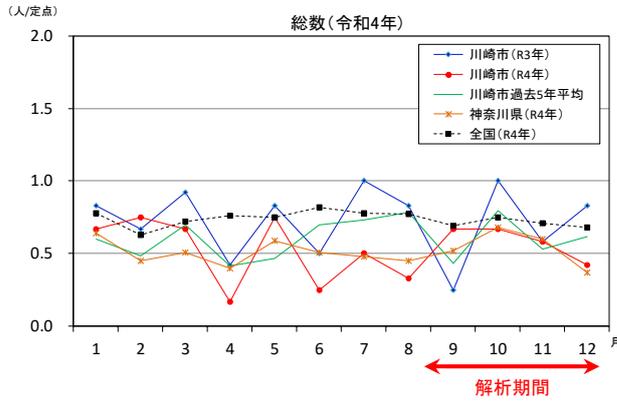
全国的には例年より高いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

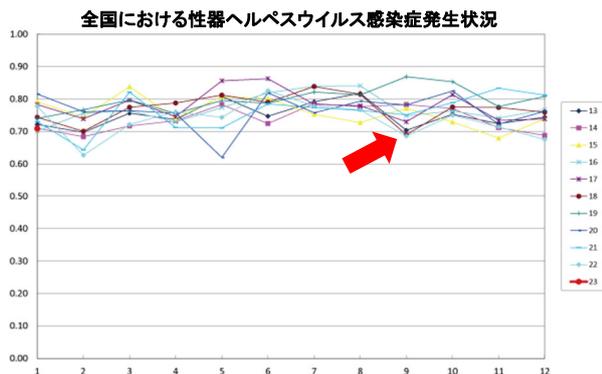
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.63 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.07 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 1 月及び 2 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

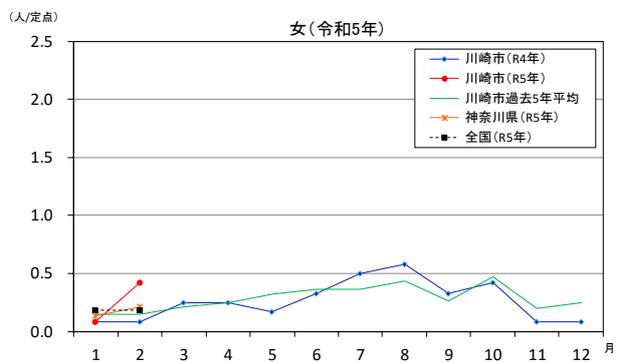
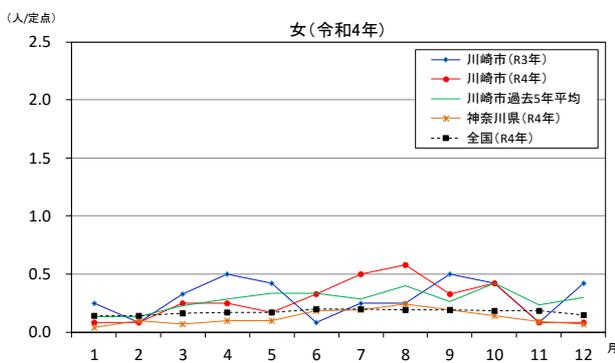
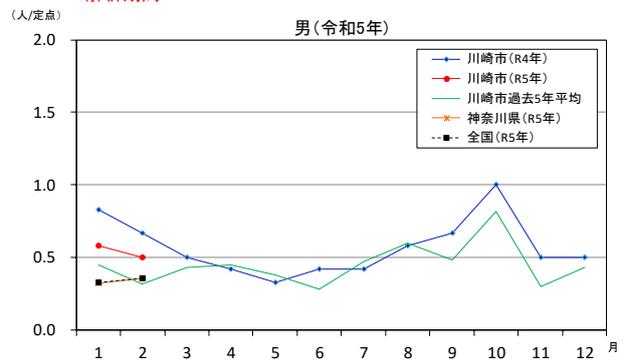
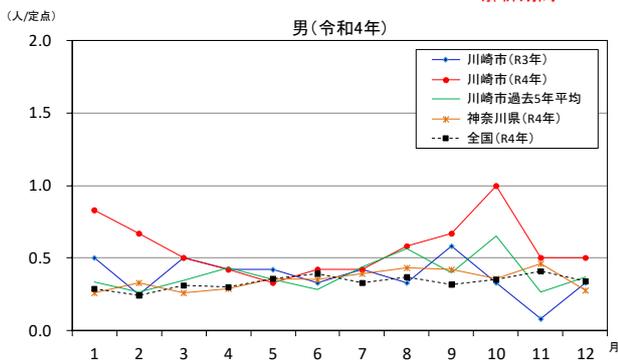
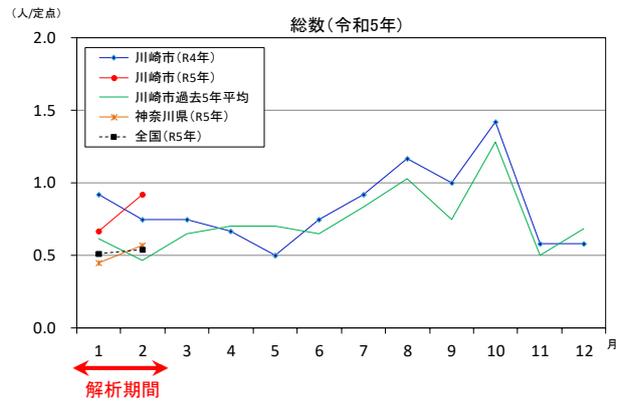
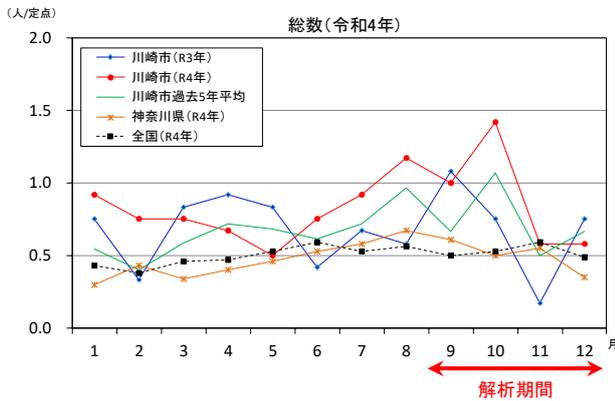
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

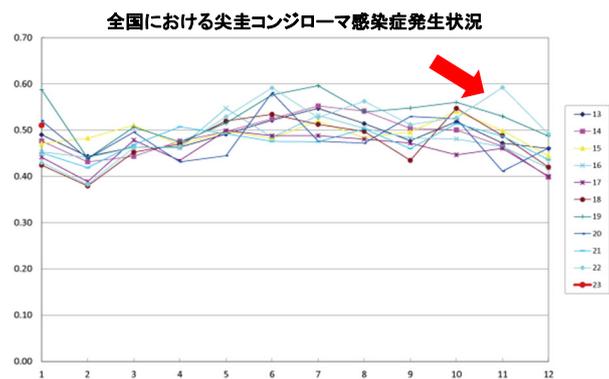
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.86 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.30 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。男性は 10 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

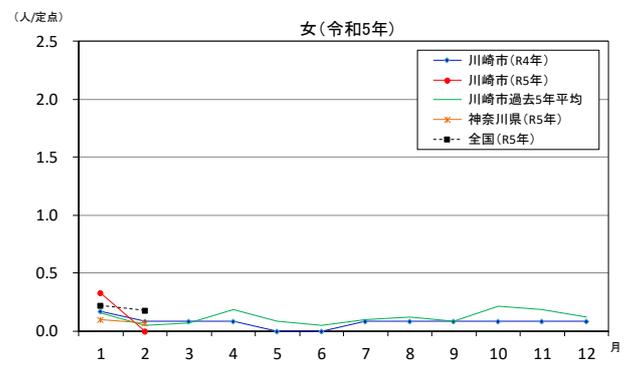
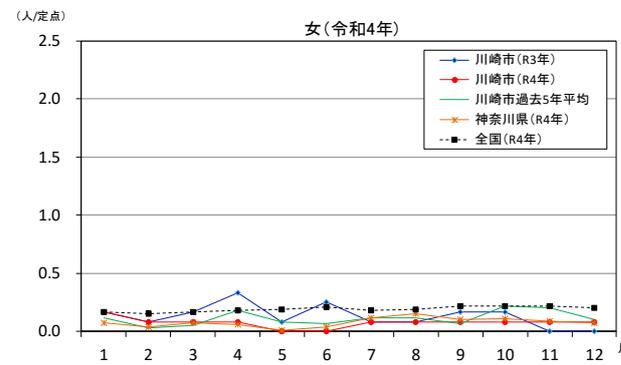
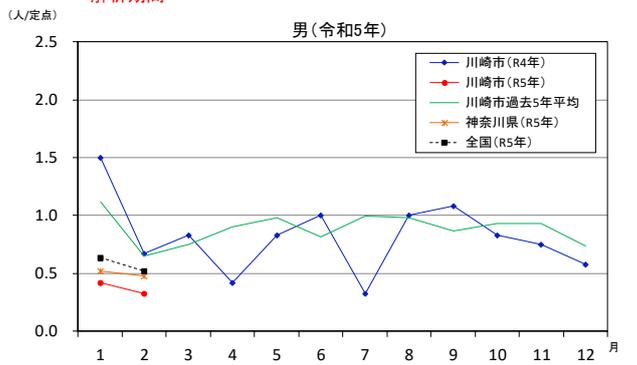
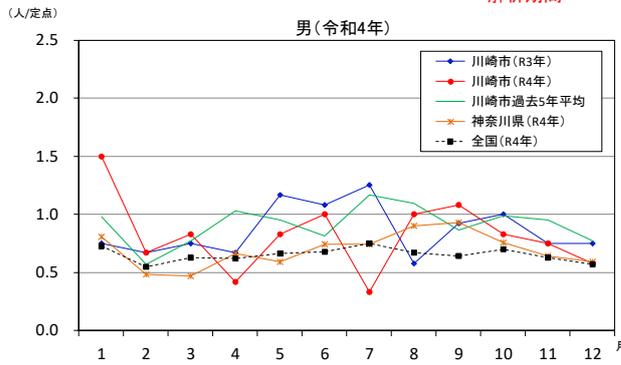
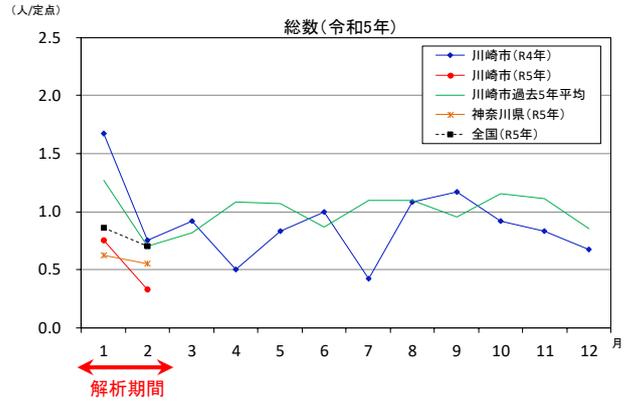
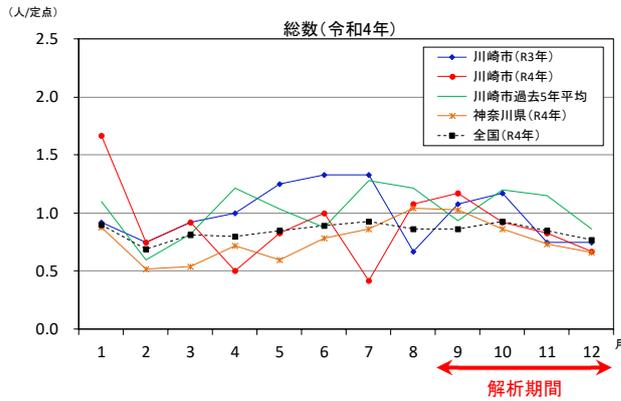
全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 淋菌感染症

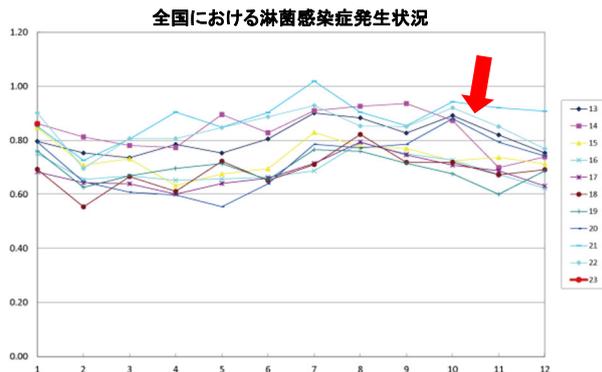
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.78 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.76 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 9 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

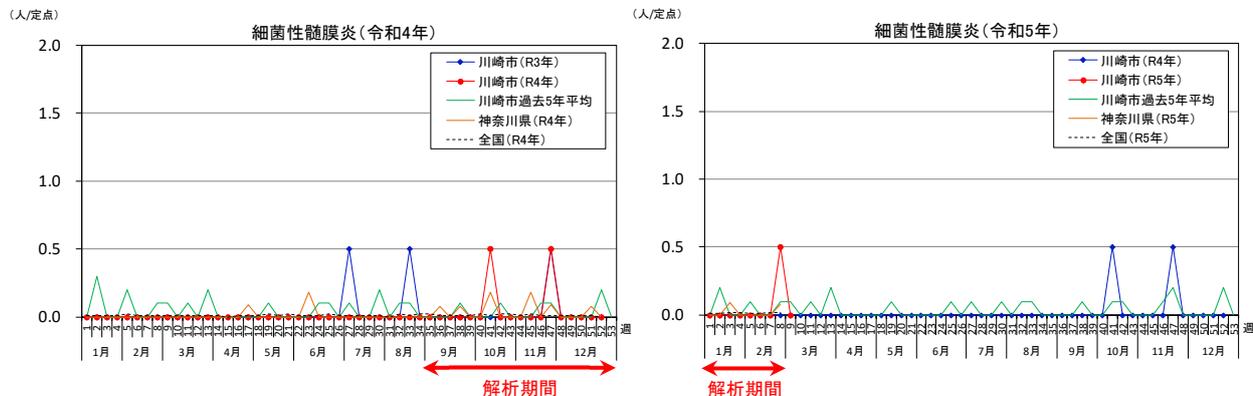


# <基幹定点対象疾患（週報）>

## 細菌性髄膜炎

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.50 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。令和 4 年第 41 週、第 47 週及び令和 5 年第 8 週に各 1 件の報告がありました。

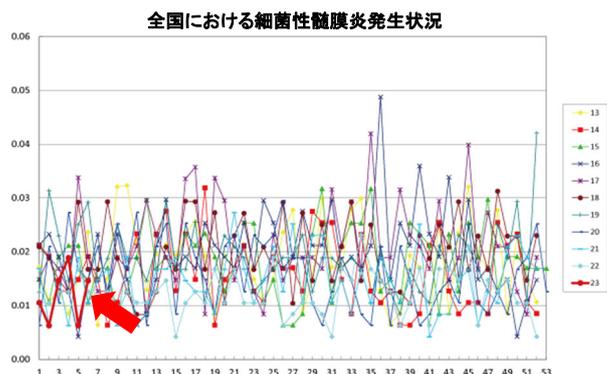


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査材料	検査結果
川崎区	女	54	第 41 週	髄液	<i>Staphylococcus</i> sp.
宮前区	女	68	第 47 週	髄液	<i>Listeria monocytogenes</i>
宮前区	女	75	第 8 週	髄液	<i>Bacteroides</i> sp.

### 【全国及びその他】

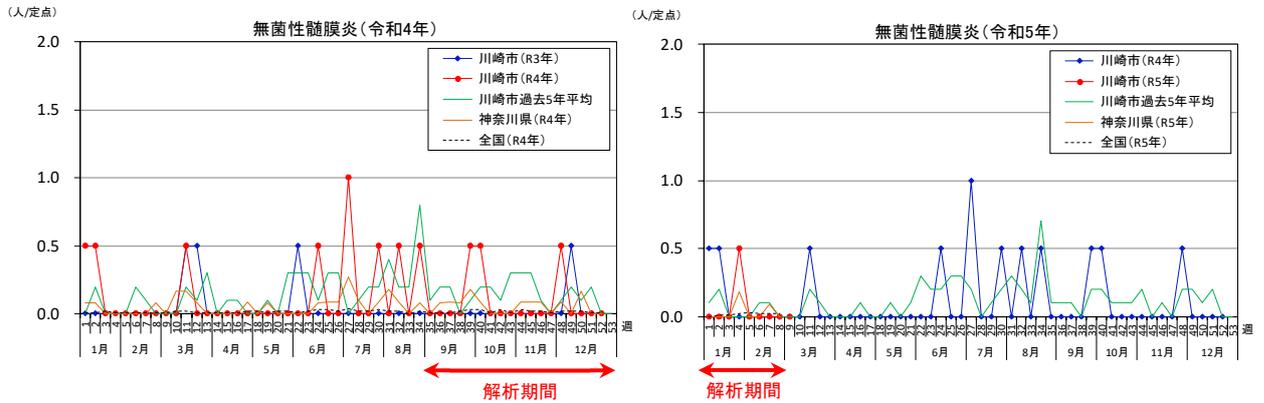
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.66 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

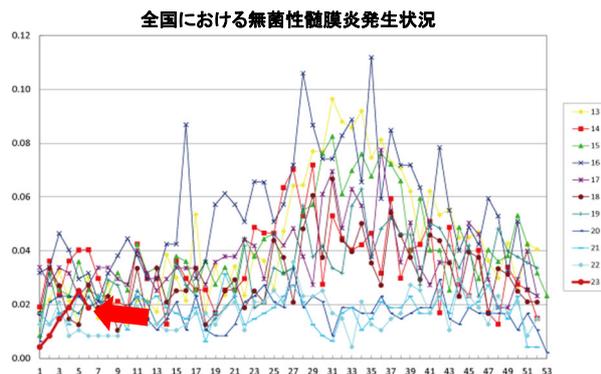


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	58	R4.9.29	髄液	陰性
川崎区	男	1 か月	R5.1.17	髄液	陰性
宮前区	女	47	R5.1.25	髄液	陰性

## 【全国及びその他】

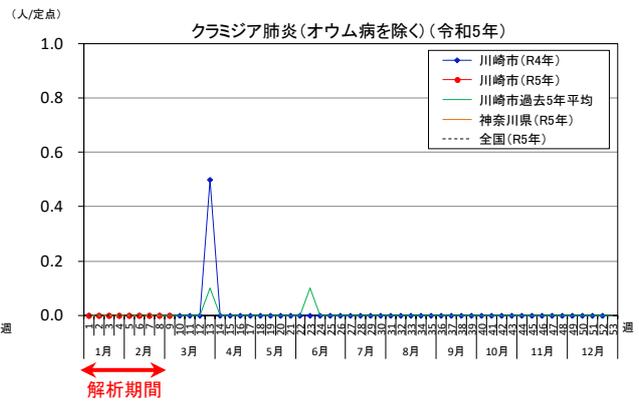
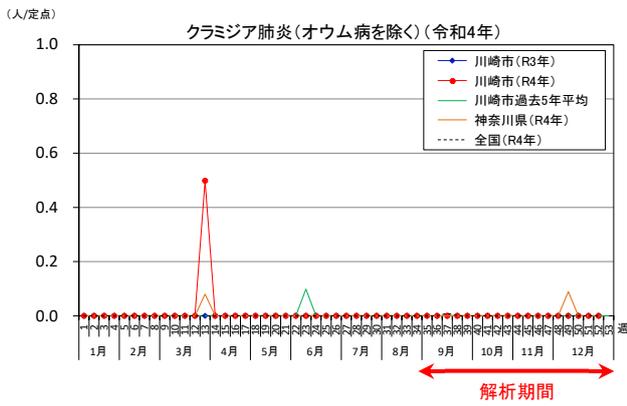
全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。



# クラミジア肺炎(オウム病を除く)

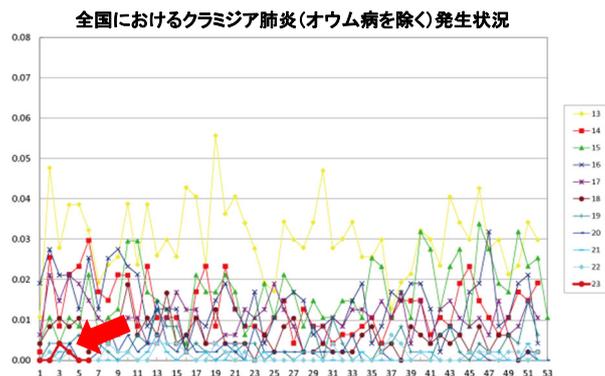
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

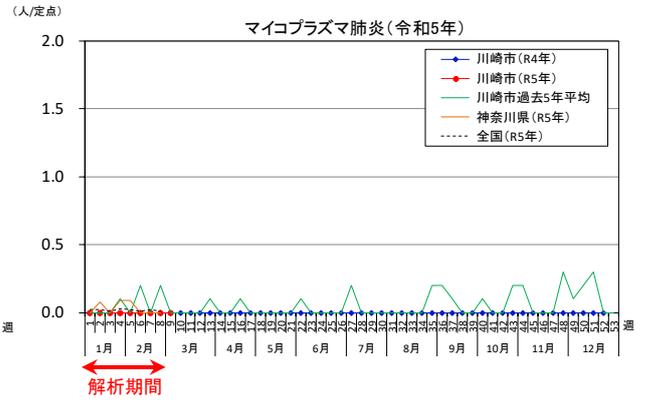
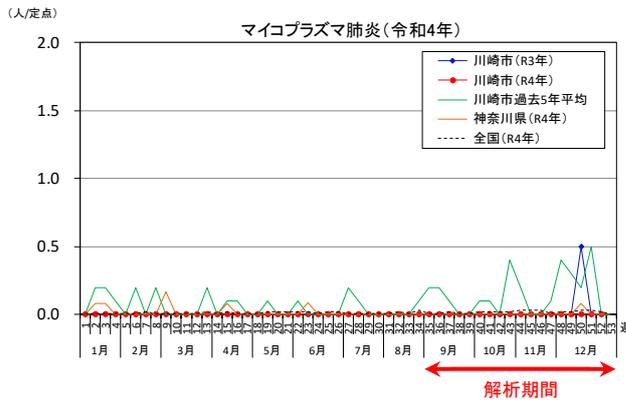
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

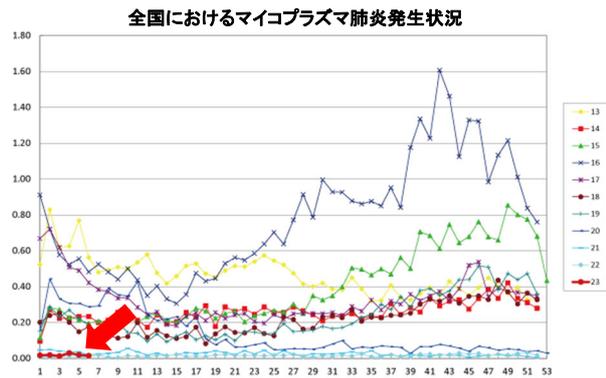
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

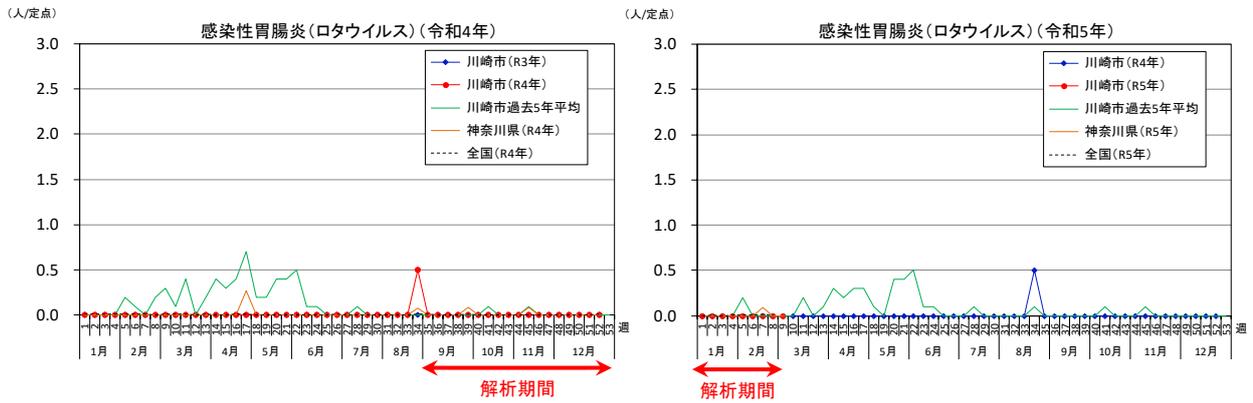
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



# 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

## 【川崎市】

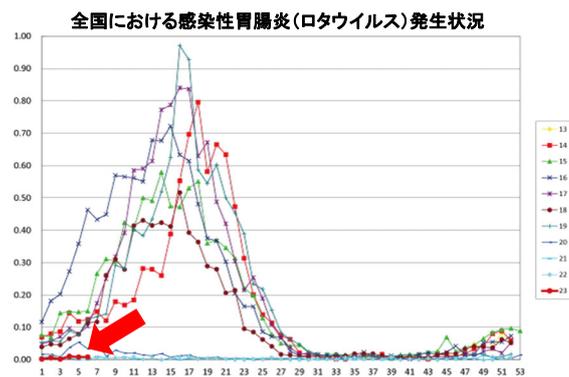
今期は報告がありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

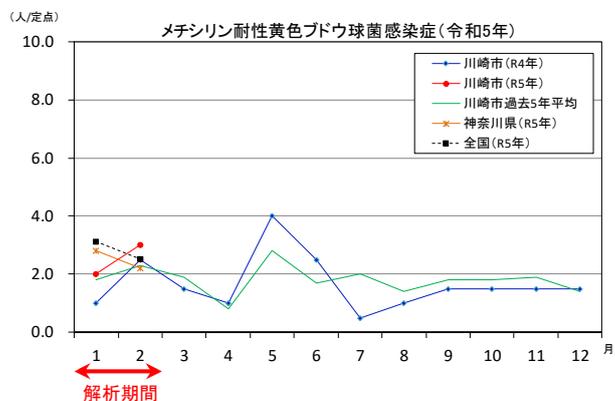
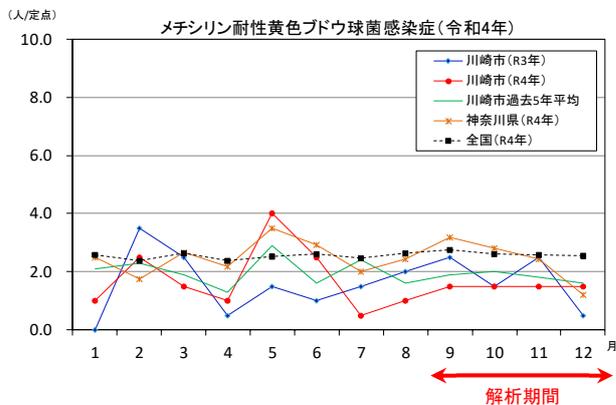


## <基幹定点対象疾患（月報）>

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

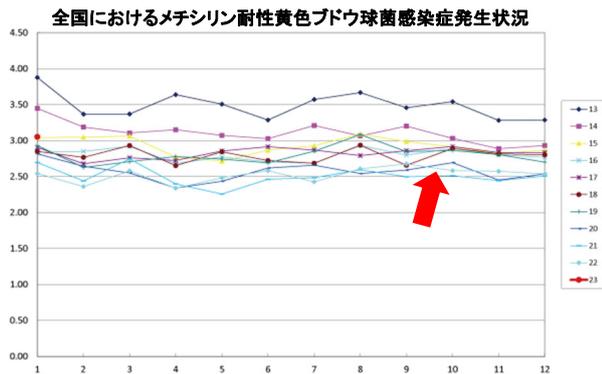
#### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.83 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.96 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



#### 【全国及びその他】

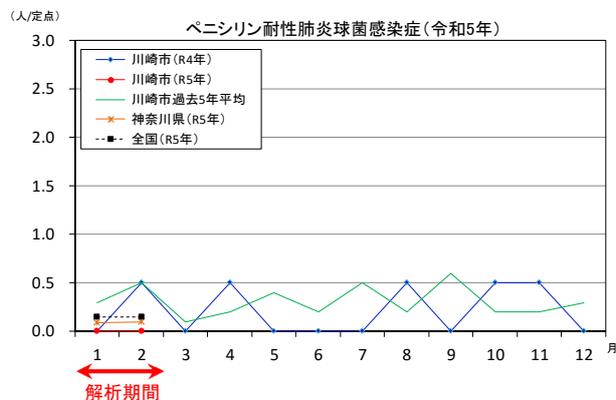
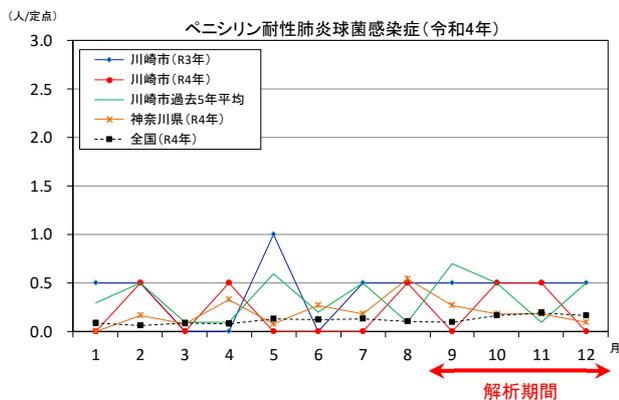
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



# ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

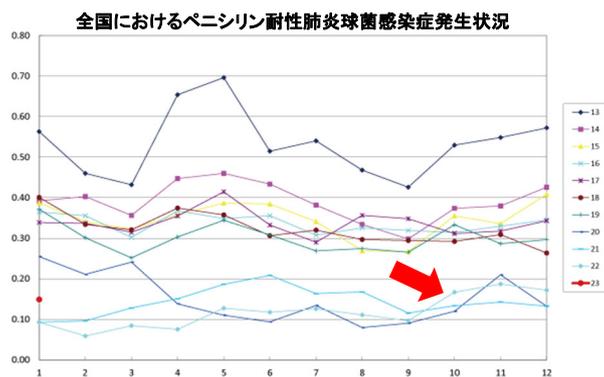
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.17 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.39 倍で、例年より低いレベルで推移しました。10 月及び 11 月に各 1 件の報告がありました。



## 【全国及びその他】

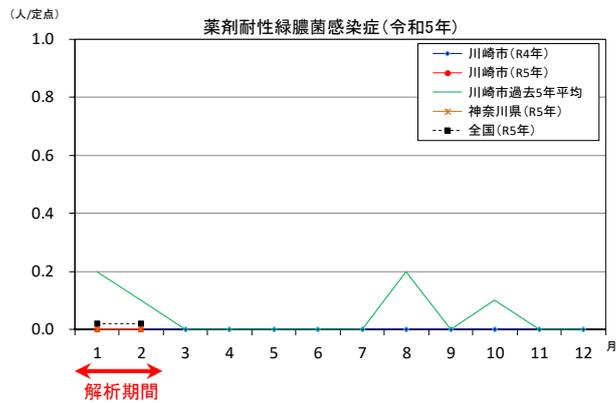
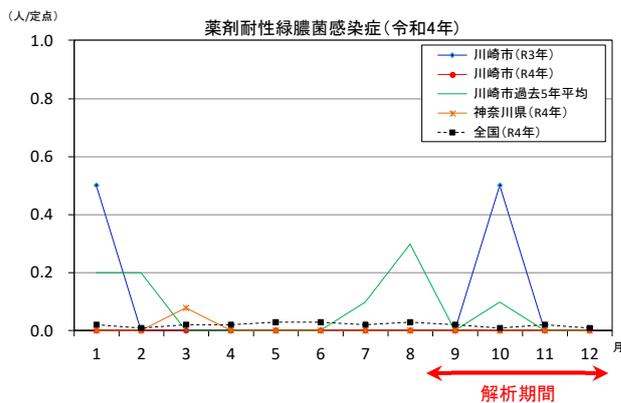
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



# 薬剤耐性緑膿菌感染症

## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

